

松村市長 初予算「可決」

新型コロナウイルス対策
子育て施策など
「松村カラー」

2021年度(令和3年度) 当初予算

宇治市一般会計予算

過去最大の
予算規模

641.4億円

| | |
|----------|---------------|
| ● 当初予算規模 | |
| ● 一般会計 | 641億4,000万円 |
| ● 特別会計 | 368億2,520万円 |
| ● 企業会計 | 197億7,686万円 |
| ● 総額 | 1,207億4,206万円 |

安心・躍動・再スタート

「安心」 新型コロナウイルス感染症対策継続・拡充

予算額 約 **13億円**

市民の『安心』を最優先に考え、「感染拡大防止」「市民支援」「事業者支援」を中心に、新型コロナウイルス感染症対策を継続・拡充

【主な新規・拡充事業】

- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業費……8億2000万円
- ・自主防災組織感染症対策事業費……1000万円
- ・虐待児童等見守り強化事業費……972万3千円
- ・宇治のうまいもん発信事業費……150万円
- ・中小企業経営チャレンジ支援事業費……1億3000万円
- ・感染症対策専門家派遣事業費……374万円
- ・オンライン申請環境整備事業費……726万円

「躍動」 子育てにやさしいまちづくり実現プロジェクト

予算額 約 **4千万円**

「子育てにやさしいまちづくり」をキーワードとして、定住促進から移住促進の流れを創り出し、地域を活性化

【定住促進(住んでよかった)】

- ・地域まちづくり交流空間創出事業費……510万円
- ・こども未来キャンパス事業費……1500万円
- ・子育ておうえん環境整備事業費……850万円
- ・宇治茶ふれあい事業費……15万円

【魅力発信(伝えたい)】

- ・「まちにわ」ネットワーク形成事業費……400万円
- ・ワーケーション受入体制支援事業費……200万円

【移住促進(住みたい)】

- ・空き家活用促進まちづくり支援事業費……510万円

「再スタート」輝く宇治を創造する取組を推進

新規事業 **59**事業、拡充事業 **56**事業

輝く宇治を創造する4つの重点的取組とまちづくりの基礎となる「市民参画・協働」などの取組を推進

【重点的取組】

- 重点①:「誰もが安心して暮らせるまちづくり」
- 重点②:「子育て・教育環境の充実したまちづくり」
- 重点③:「活力ある新たな産業を振興するまちづくり」
- 重点④:「住みたくなる・住んでうれしいまちづくり」

【まちづくりの基礎となる取組】

- (1) 市民参画・協働
- (2) 効果的・効率的な行財政運営

今回の当初予算の中には、ウィズコロナ・ポストコロナ社会を見据えた、うじ未来会派の要望・提言の内容が多く取り入れられています。

令和3年度 予算特別委員会

松峯茂・西川友康・岡本里美・今川美也が
予算委員として予算を審査しました。



主要項目

- ・ウィズコロナ・ポストコロナ社会におけるICTの活用について
- ・定住促進・魅力発信・移住促進の好循環の創出について
- ・地域学校協働事業の推進について
- ・公共施設の将来像(複合・多機能型公共施設)について



3月定例会

代表質問

松峯 茂 議員



まちづくりに対する 松村市長のビジョンについて

会派を代表して松峯議員が、市長の政治姿勢やウィズコロナ・アフターコロナ対策の考え方、近鉄小倉駅周辺のまちづくり、中学校給食、西小倉地域小中一貫校整備について質問。市長は、「安心・躍動・再スタート」を柱とした新型コロナウイルス感染症対策の継続・発展的な取り組みと子育てにやさしいまちづくりを最重点においた躍動予算について答弁。最後に「お茶と歴史・文化香るふるさと宇治」の実現と「新しいステージにおける感染再拡大防止対策」で市民の安心・安全と健康を守ることを強く要望した。

一般質問

角谷 陽平 議員



市内企業・事業者の 新規創業・事業再構築支援体制について

ポストコロナ社会にむけて国の「中小企業等事業再構築促進事業」といった新たな支援制度を活用し、業態転換・新規創業を検討する市内企業・事業者に対して、伴走型の支援体制を構築すべきと考え、市の見解を確認した。市は、宇治商工会議所や京都リサーチパークのコーディネーターによる各種補助金の申請支援の強化に加え、市内事業者の事業再構築や経営改善等、意欲的なチャレンジを支援するため、新年度予算案で新たな補助制度(中小企業経営チャレンジ支援事業)を提案していると答弁。

4常任委員会 報告

総務 常任委員会

政策、財務、広報、消防など総務を担当



文教・福祉 常任委員会

教育、福祉を担当



宇治市第4次防犯推進計画について

これまでの取組成果を踏まえつつ、社会情勢等の変化に対応するため、引き続き地域の見守り活動の推進と防犯カメラの活用を進めると共に、関係機関との連携、体制強化による再犯防止施策の推進及び、犯罪被害者等が被害から回復し、平穏な生活を営むことができるよう継続した支援に取り組むことで、誰一人取り残さない社会の実現にむけ、令和3年度から5年間の計画として取りまとめがされました。

休日急病診療所の運用方法について

宇治市休日急病診療所では、新型コロナウイルス感染症の院内感染防止対策のため、医科の診察を当日電話予約制の運用に変更する等の対応をしています。状況を慎重に見極めるため、この運用については令和3年4月末日まで実施されます。

電話予約受付時間 午前9時～11時まで・午後1時～4時まで

予約専用電話番号 0774-39-9376

市民・環境 常任委員会

観光、自治、ゴミ収集、農業委員会などを担当



建設・水道 常任委員会

建設、都市整備、水道などを担当



合葬墓について

宇治市では、少子高齢化・核家族化等の家族形態の変化に伴いお墓に対する市民ニーズが多様化していることなどから、利用者の経済的・心理的負担が軽くなる合葬墓を整備しています。供用開始の時期は、令和3年7月を予定。収蔵可能数は9,000体で、市民が合葬室のみを利用する場合の利用料は55,000円(市外は82,500円)。



黄檗公園野球場グラウンド 改修について

老朽化が進み、長年様々な方から要望があった野球場ですが、今回グラウンドの天然芝から人工芝への改修、外壁・内壁の塗り替え、などと共に排水構造物の新設、トイレ改修など災害時避難所としての機能向上にかかわる改修も併せて行われました。



うじ未来 議員紹介

松峯 茂 【まつみね しげる】 ●うじ未来 団長 ●市民環境常任委員会委員
●城南衛生管理組合議長 ●議会運営委員会委員

真田 敦史 【さなだ あつし】 ●宇治市議会議員 ●建設水道常任委員会委員

服部 正 【はっとり ただし】 ●広報委員会副委員長 ●建設水道常任委員会委員

今川 美也 【いまがわ みや】 ●市民環境常任委員会委員 ●城南衛生管理組合議会議員

岡本 里美 【おかもと さとみ】 ●文教福祉常任委員会委員 ●京都府後期高齢者医療広域連合議会議員

西川 友康 【にしかわ ともやす】 ●議会運営委員会副委員長 ●総務常任委員会委員

角谷 陽平 【かどや ようへい】 ●総務常任委員会委員 ●広報委員会委員